

公立大学法人埼玉県立大学の事業年度評価について(案)

(1) 法人による業務の実績報告及び自己評価について

業務の実績報告及び自己評価の手順

小項目(年度計画の項目)ごとの業務の実績及び評価

○小項目ごとに、記述により業務の実績を明らかにする(①)とともに、業務の進捗状況を4段階で自己評価(②)する。

- S: 年度計画を上回って実施している。
- A: 年度計画を十分に実施している。
- B: 年度計画を十分には実施していない。
- C: 年度計画を実施していない。

大項目(中期目標の項目)ごとの評価

○小項目評価の結果(③)の内容をもとに、記述式により自己評価(④)する。

評価項目(5項目)

- I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標
- II 業務運営の改善及び効率化に関する目標
- III 財務内容の改善に関する目標
- IV 自己点検・評価及び当該情報の提供に関する目標
- V その他業務運営に関する重要目標

全体評価

○総合的な業務実績について、記述式により自己評価(⑤)する。

○参考: 業務実績報告書記載イメージ

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

①: 年度計画の業務実績

| 中期計画 | 年度計画 | 業務の実績 | 記述 | 備考 |
|---|--|---|--------|--------------|
| 【研究資金の確保】 ・ 学科ごとに研究推進体制を確立し、若手研究者の科学研究費補助金への応募率を100%にする。 | ◆ 平成23年度科学研究費補助金への応募率90%以上(若手研究者については100%)を達成する。 | ○応募率 0% (現在募集中) | C | ②: 自己評価(4段階) |
| 【産学官連携の推進】 ・ 産学連携の強化を図るため、地域産学連携センターの充実に努める。 | ◆ 地域産学連携センターに産学連携のための相談窓口を設置する。 ◆ 受託研究・共同研究を獲得するため、産学連携コーディネーターによる企業訪問を実施する(20件以上)。 | ○相談窓口を設置(4月) ○コーディネーターを配置(5月) ○企業訪問7件(10月末現在) | A B | |

③: 大項目ごとに自己評価を集計

| 構成する小項目別評価の結果 | 自己評価 | S/Aの割合 |
|----------------------|------|--------|
| S: 年度計画を上回って実施している。 | 0 | 33% |
| A: 年度計画を十分に実施している。 | 1 | |
| B: 年度計画を十分には実施していない。 | 1 | |
| C: 年度計画を実施していない。 | 1 | |

大項目評価(大項目の進捗状況)

教育開発委員会を設置し、新たなカリキュラムの構築に向けた検討を開始するなど、中期計画の達成に向けて、年度計画に掲げた事項を着実に実施することができた。

④: 大項目評価(小項目評価を踏まえて記述)

○全体評価

年度計画目標209項目中、年度計画を上回って実施している(S評価)項目が〇〇項目(〇%)、年度計画を十分に実施している(A評価)項目が〇〇項目(〇%)、年度計画を十分には実施していない(B評価)項目が△項目(△%)、年度計画を実施していない(C評価)項目が×項目(×%)という結果であった。
理事長のリーダーシップのもと迅速に問題解決にあたる体制を整え、業務運営に取り組んできた。また、すべての職員が業務運営に参画できるように心がけ、教職員一丸となつての取り組みを行うことができた。

⑤: 全体評価(大項目評価を踏まえて記述)

(2) 委員会による業務実績評価について

